

2019年3月期 第3四半期 決算説明資料

私たちは、世界一お客様に愛され、
選んでいただける不動産会社を目指しています

1)2019年3月期 第3四半期 決算実績の概要	1～10
2)事業環境	11～13
3)第3四半期取り組み・今後の成長戦略	14～36
ご参考資料	37～38

2019年2月6日



SUN FRONTIER

証券コード:8934

2019年3月期 第3四半期 決算実績

第3四半期累計期間は売上高、利益ともに過去最高を更新

	実績	利益率	前年同期比	伸び率	通期業績予想	進捗率
売上高	45,196百万円	—	+11,723百万円	+135.0%	58,000百万円	77.9%
営業利益	12,162百万円	26.9%	+4,655百万円	+162.0%	12,300百万円	98.9%
経常利益	11,746百万円	26.0%	+4,552百万円	+163.3%	11,800百万円	99.5%
純利益※	7,963百万円	17.6%	+3,065百万円	+162.6%	8,200百万円	97.1%

(※)「純利益」は親会社株主に帰属する四半期純利益を示しております。

業績ハイライト

1) リブランニング事業が高い利益率を継続し、業績を牽引

- セグメント利益率は**32.5%**と高い水準を継続
(2017年3月期 27.6%、2018年3月期 29.7%)
- 仕入も順調に進捗、**来期販売予定分の仕入計画は概ね完了**
賃料収入増大を目的とした物件の仕入、積み上げを図る
- 当四半期末のRP事業の在庫棟数は59棟、**棚卸資産残高は577億円(前年同期比 +60.0%)に増加**
(2017/12月末時点 42棟、360億円)

2) オペレーション事業が順調に成長

- オペレーション事業は前年同期比で売上高約1.3倍、セグメント利益約1.4倍に成長
- 前期、今期と新規開業してきたホテルが順調に稼働を伸長、特に2年目以降のホテルが業績を大きく伸ばし、売上高1.4倍、利益額1.8倍と伸長した。
- 貸会議室事業は10月に「VisionCenter東京駅前」を新規開業
合計14拠点、5440席に拡大(2017/12月末時点9拠点、約3000席)

連結損益計算書

(単位:百万円)

	2018年3月期 4～12月	2019年3月期 4～12月
売上高	33,473	45,196
不動産再生事業	28,741	39,572
リプランニング(含ホテル開発)	27,003	37,361
賃貸ビル(含サブリース)	1,737	2,086
不動産サービス事業	2,345	2,483
オペレーション事業	2,170	2,967
その他事業	707	772
調整額	▲490	▲599
売上総利益	11,039	16,515
不動産再生事業	8,931	14,073
リプランニング(含ホテル開発)	8,220	13,070
賃貸ビル(含サブリース)	710	1,002
不動産サービス事業	1,424	1,538
オペレーション事業	308	412
その他事業	486	556
調整額	▲111	▲65
販売費及び一般管理費	3,532	4,352

	2018年3月期 4～12月	2019年3月期 4～12月
営業利益	7,507	12,162
営業外収益	12	36
営業外費用	325	452
経常利益	7,194	11,746
特別損益	-	0
法人税等	2,296	3,782
非支配株主損益	▲7	▲0
純利益	4,906	7,963

- RP事業は売上高が前年同期比38%増、売上総利益同59%増と伸長
- **売上総利益率は36.5%に上昇** (前年同期利益率33.0%)

- **安定収益のオペレーション事業が順調に拡大**
売上高・売上総利益はともに前年同期比1.3倍の成長

- 売上総利益49.6%増に対して、販管費が23.2%増に留まったことで**経常利益は63.3%増**

連結貸借対照表 -資産-

(単位:百万円)

	2017年 3月末	2018年 3月末	2018年 12月末	増減額 (2018年3月末比)
流動資産	55,195	80,174	93,602	+13,428
現金及び預金	16,246	23,892	22,502	▲1,389
棚卸資産	36,186	54,593	69,025	+14,432
内訳)RP	26,039	45,525	57,722	+12,197
ホテル	7,254	5,291	7,522	+2,231
海外等	2,892	3,775	3,780	+5
その他流動資産	2,762	1,687	2,073	+386
固定資産	8,458	11,587	12,391	+804
有形固定資産	7,288	8,565	9,042	+477
無形固定資産	562	474	422	▲52
投資その他の資産	608	2,546	2,926	+379
資産合計	63,654	91,761	105,993	+14,232

RP事業案件は販売を上回る仕入の進捗に伴い、残高は144億円増。

連結貸借対照表 -負債・純資産-

(単位:百万円)

	2017年 3月末	2018年 3月末	2018年 12月末	増減額 (2018年3月末比)
流動負債	8,281	10,155	11,084	+928
短期借入金等	3,438	2,716	2,754	+37
未払法人税等	802	3,178	1,966	▲1,211
その他流動負債	4,040	4,260	6,363	+2,102
固定負債	19,686	32,756	39,882	+7,125
長期借入金・社債	18,626	30,865	37,735	+6,869
その他固定負債	1,059	1,890	2,146	+255
負債合計	27,968	42,912	50,966	+8,054
株主資本	35,528	48,750	55,081	+6,330
その他	157	99	▲53	▲152
純資産合計	35,686	48,849	55,027	+6,177
負債・資本合計	63,654	91,761	105,993	+14,232

自己資本比率の推移

2017年3月末	2018年3月末	2018年12月末
56.0%	53.2%	51.9%

RP事業案件の仕入が進捗したことで借入金が前期末から69億円増加、12月末の有利子負債残高は404億円

四半期純利益(+79億円)と期末配当金支払(▲16億円)の差額として利益剰余金が63億円増加

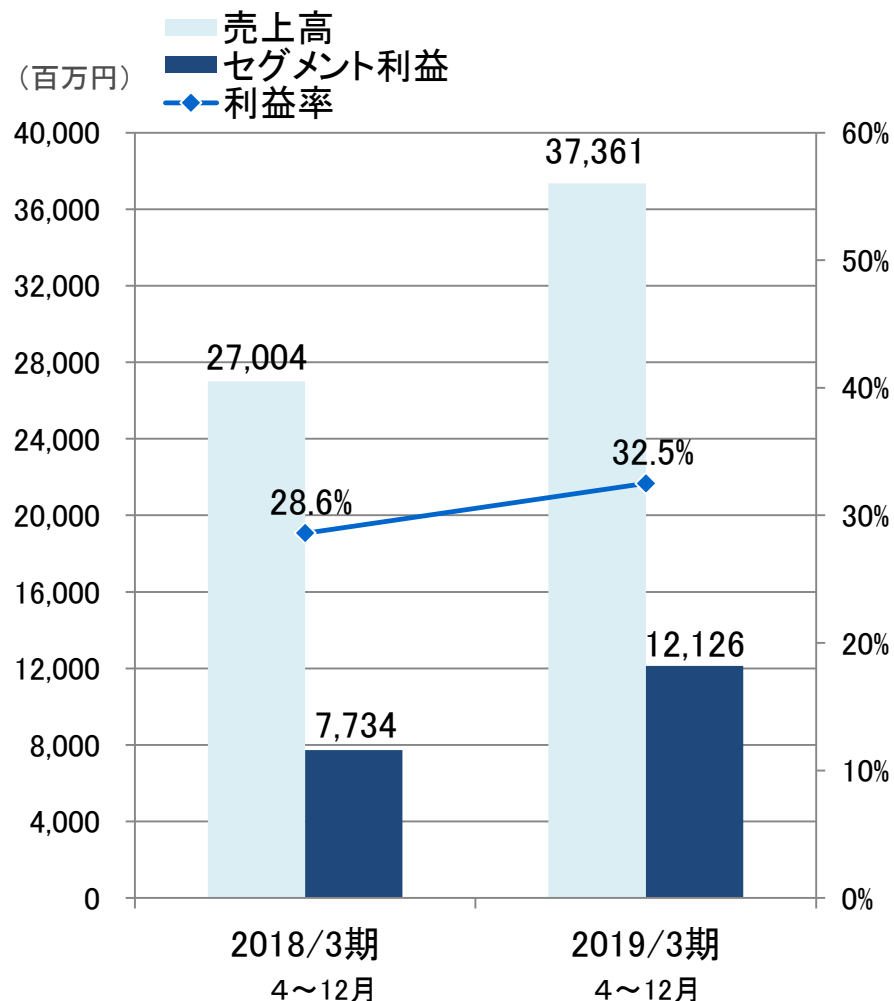
リプランニング事業 (リプランニング・ホテル開発)

(単位:百万円)	2018/3期 4~12月	2019/3期 4~12月	増減
売上高	27,004	37,361	+58.2%
セグメント利益 ^(注1)	7,734	12,126	+56.8%
利益率	28.6%	32.5%	+3.9%pt
仕入物件数	31件	37件	+6件
販売物件数	23件	26件	+3件
期末在庫数	47件 ^(注2)	64件 ^(注2)	+17件

- 売上高、利益ともに大幅に増加
- 商品化の創意工夫を積み重ねるとともに、当社顧客への直接販売が増加したことなどから、**利益率は32%を超える高い水準を継続**
- 平均事業期間は339日
- **仕入が進捗し、期末在庫は64件 652億円**
(内訳) RP事業関連 59件 577億円
ホテル事業関連 5件 75億円

※海外事業関連は除く

※上記以外に1月末までの仕入決済・契約済案件は**RP物件13件、101億円あり**

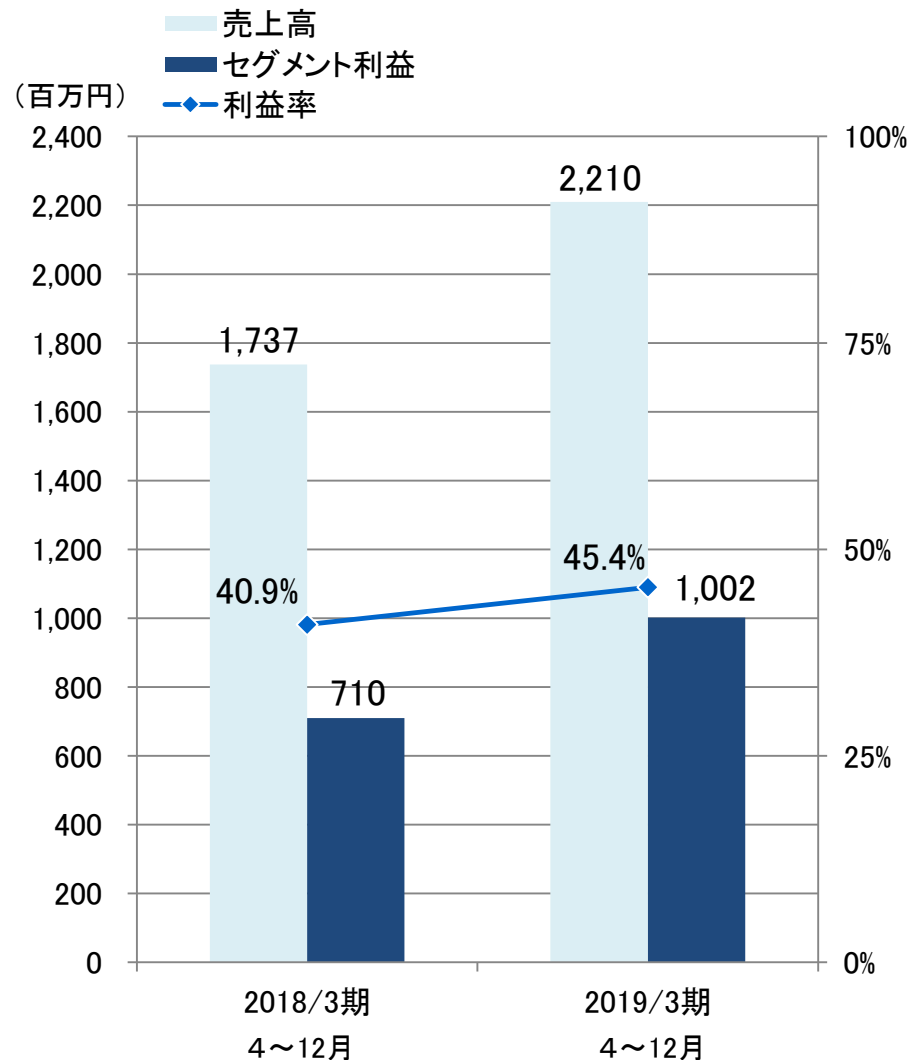


(注1)「セグメント利益」は、売上総利益から支払利息、販売手数料、のれん償却等、各事業で発生する固有の費用を差し引いて算出

(注2)土地仕入開発案件もRP在庫に含む

賃貸ビル事業 (賃貸ビル・サブリース)

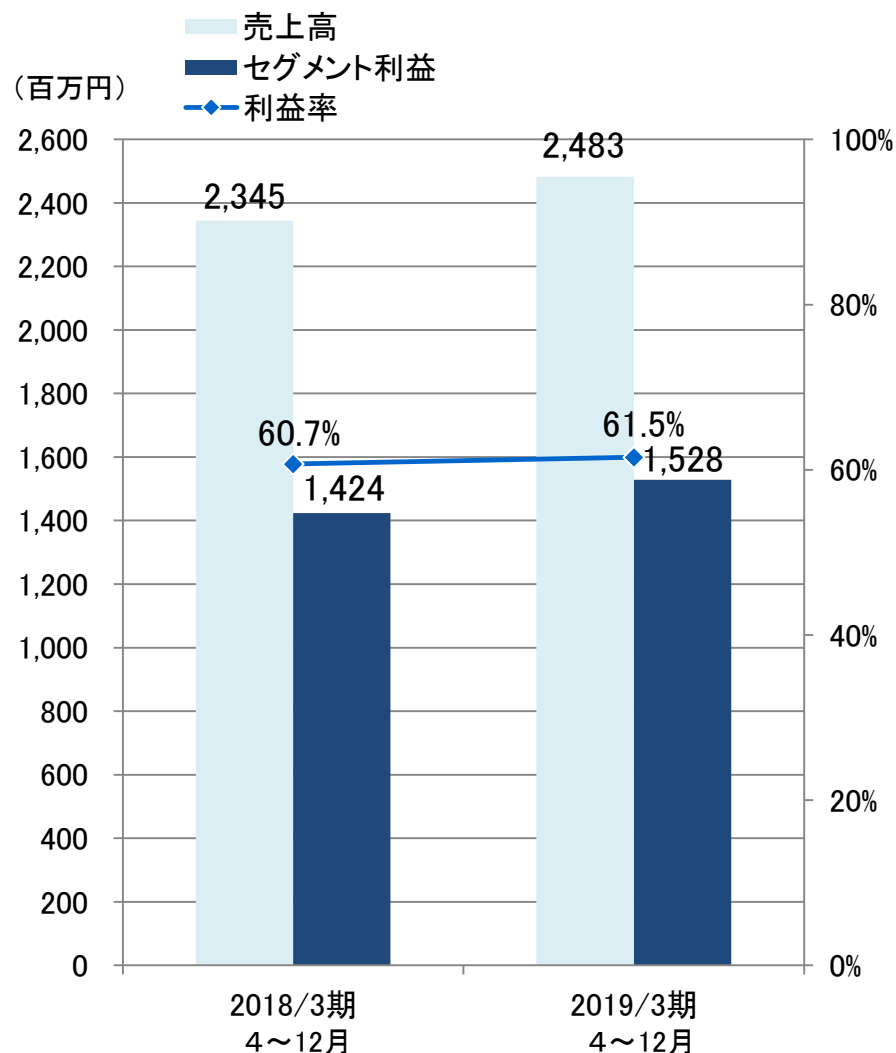
(単位:百万円)	2018/3期 4~12月	2019/3期 4~12月	増減
売上高	1,737	2,210	+27.3%
セグメント利益	710	1,002	+41.1%
利益率	40.9%	45.4%	+4.5%pt



- リプランニング事業において、商品化が進捗したビルからの賃料収入が増加している。
- ホテル事業からの賃料収入も増加。
- 安定収益の増強を図るべく、長期保有に適するビルの仕入・ビルづくりに取り組んでいる。

不動産サービス事業 (プロパティマネジメント・ビルメンテナンス ・売買仲介・賃貸仲介)

(単位:百万円)	2018/3期 4~12月	2019/3期 4~12月	増減
売上高	2,345	2,483	+5.8%
セグメント利益	1,424	1,528	+7.3%
利益率	60.7%	61.5%	+0.9pt



<PM事業・BM事業>

- きめ細かなテナント対応やお困りごと解決に加え、適正賃料への条件改定による収益改善等に取り組むことで付加価値の高いサービスを提供。その結果、グループ全体のお客様基盤と事業基盤を伸ばすことに貢献

【PM受託棟数と稼働率の推移】

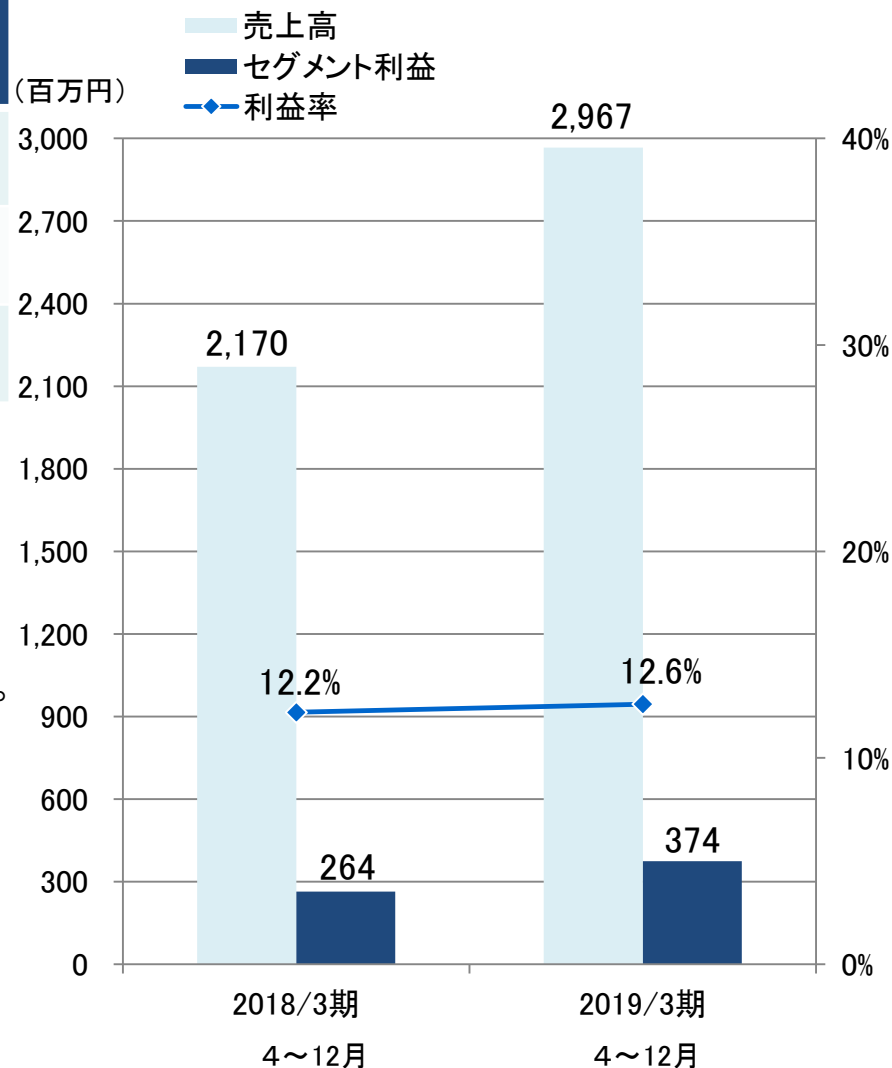
	受託棟数	稼働率
2016年12月末	356棟	96.5%
2017年12月末	369棟	95.5%
2018年12月末	377棟	97.8%

<売買仲介・賃貸仲介>

- 売買仲介は売上高、利益ともに減少となったものの、仲介部門がRP物件の仕入・商品化・販売プロセスにおいてお客様視点に立った高い付加価値創出の原動力となつて、グループ全体の収益に貢献

オペレーション事業 (ホテル運営・貸会議室)

(単位: 百万円)	2018/3期 4~12月	2019/3期 4~12月	増減
売上高	2,170	2,967	+36.8%
セグメント利益	264	374	+41.7%
利益率	12.2%	12.6%	+0.4%pt



<ホテル運営事業>

- 『スカイハートホテル』『日和ホテル舞浜』『スプリングサニーホテル』の稼働率、客室単価ともに堅調に推移し、前年同期比で**売上高、利益が堅調に増加**
- 『たびのホテル』が5月に飛騨高山、7月に佐渡島で開業。2019年は3棟のホテルが竣工予定。開業に向けて進捗中。
- 2018年12月末時点で**運営ホテルは10店舗に拡大**
(4~12月 売上高2,322百万円、セグメント利益221百万円)

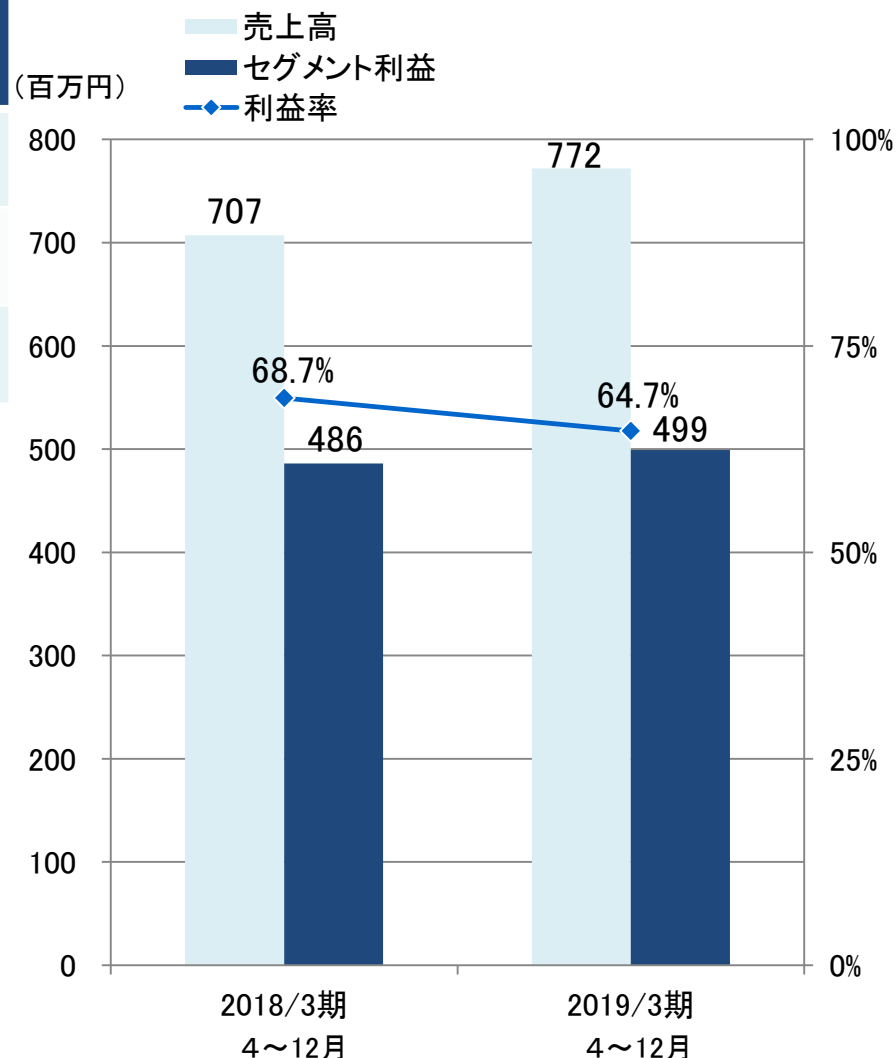
<貸会議室事業>

- 2019年1月末時点で**合計14拠点に拡大**(貸会議室9拠点、レンタルオフィス3拠点、コワーキング2拠点)。
- 10月29日に『ビジョンセンター東京駅前』を開業。
(4~12月 売上高655百万円、セグメント利益117百万円)

事業別業績

その他（滞納賃料保証・海外事業・建設ソリューション等）

(単位: 百万円)	2018/3期 4~12月	2019/3期 4~12月	増減
売上高	707	772	+9.2%
セグメント利益	486	499	+2.7%
利益率	68.7%	64.7%	▲4.0%pt



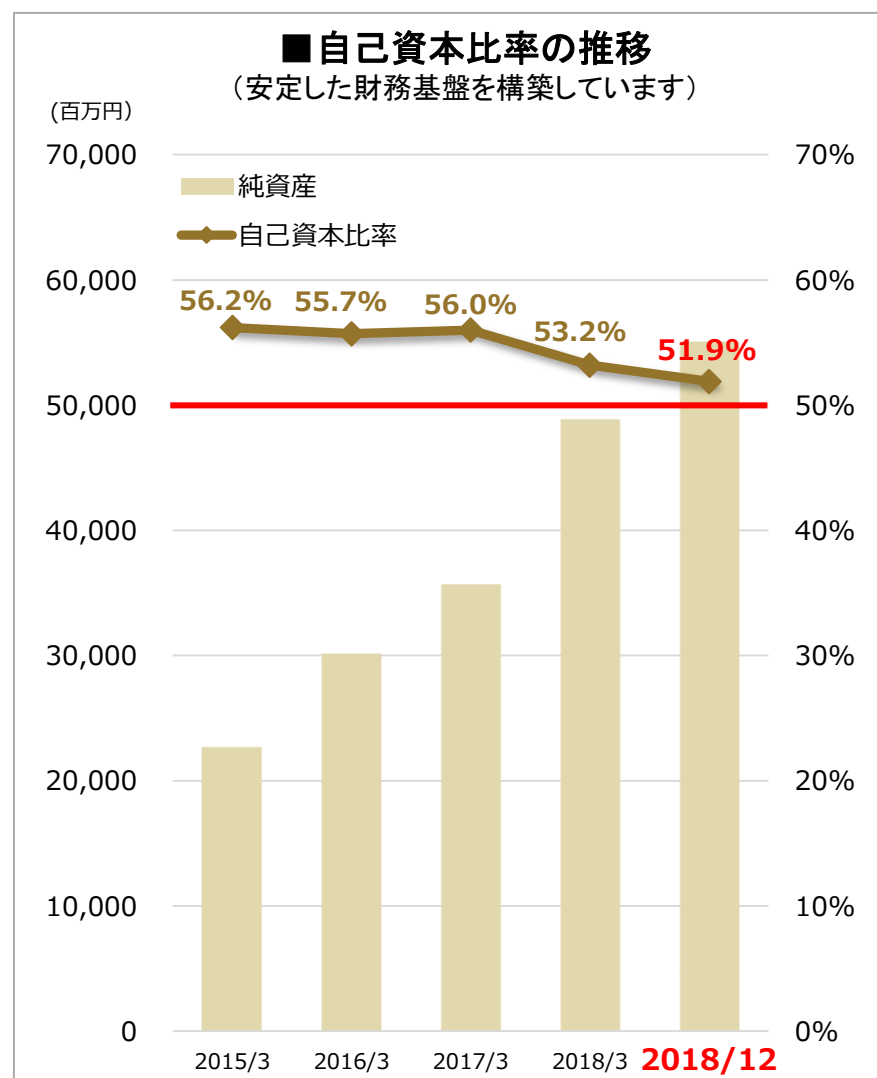
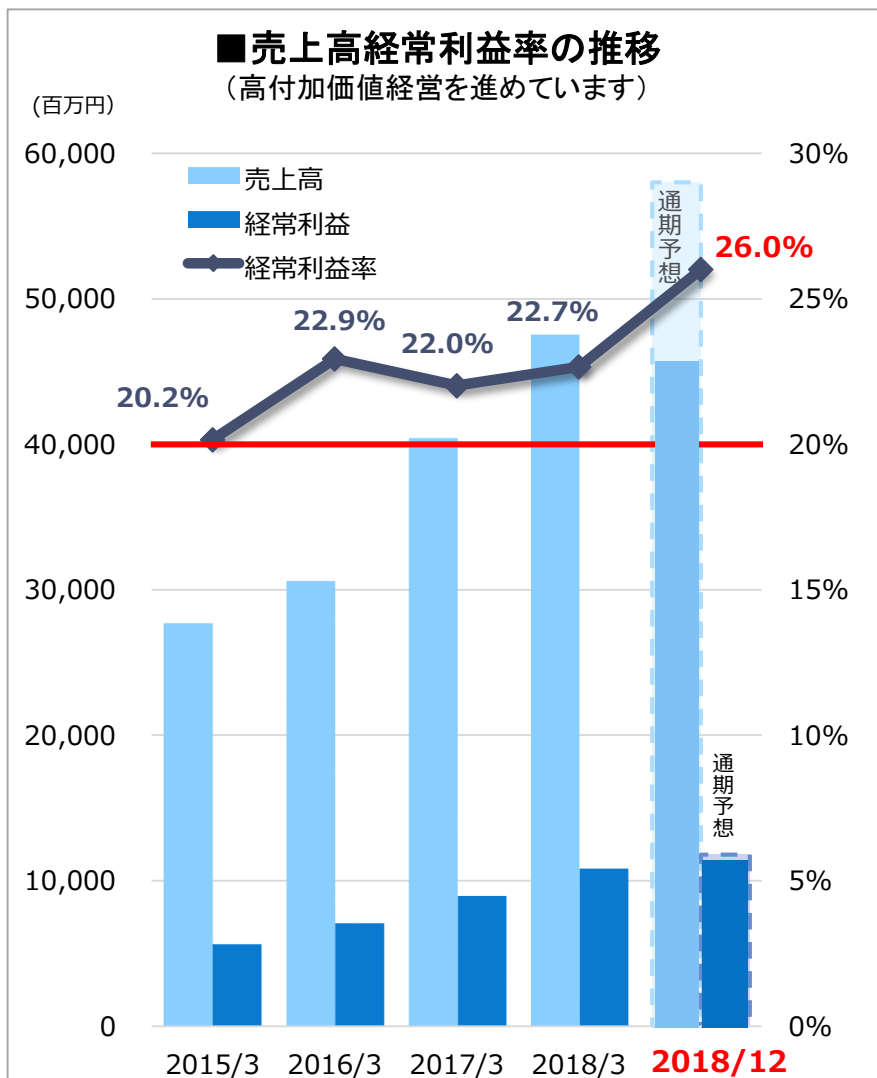
<滞納賃料保証事業>

- オフィス需給の逼迫により賃料が増額傾向にある中、テナントの賃料負担力に不安を覚えるオーナー様が増加。新規保証、再保証ともに取扱件数が堅調に推移し、売上高、利益ともに増加
- 2020年の民法改正を控え、機関保証への需要高まりが見込まれることから、ビルオーナー様向けセミナー等を強化し、新たな付加価値提供の機会を創出

<海外事業>

- ベトナムの中部最大都市ダナン 28階建(306戸)の分譲マンション『HIYORI Garden Tower』が2018年8月に完売(竣工は2019年9月予定)

重視する経営指標の推移



2) 事業環境

1. 世界経済は後退とまではいかないが減速が鮮明になり、景気の下方リスクが大きくなっている。

◆IMFの2019年世界成長率予想は3.5%と、**2回連続・合計-0.4pt下方修正**され、減速感が鮮明に。

◆**米中貿易摩擦**激化や**中国や欧州経済の成長鈍化**等、世界経済の下振れリスクに留意する必要がある。

◆世界的なポピュリズムの台頭、英国のEU離脱問題等で**政治経済が混乱するリスク**にも留意が必要。

2. 日本経済は緩やかに成長続くが、世界経済に左右される側面も大きく、不透明感が強まっている。

◆日本経済は戦後最長の拡張局面が続く一方、世界経済の成長鈍化により警戒感の強い環境が続く。

◆2018年の訪日外国人旅行者数は一時前年を下回ったものの、**通年では初めて3000万人を突破**した。

◆10月に控える**消費増税の影響**や**金融資本市場の変動**に留意する必要がある。

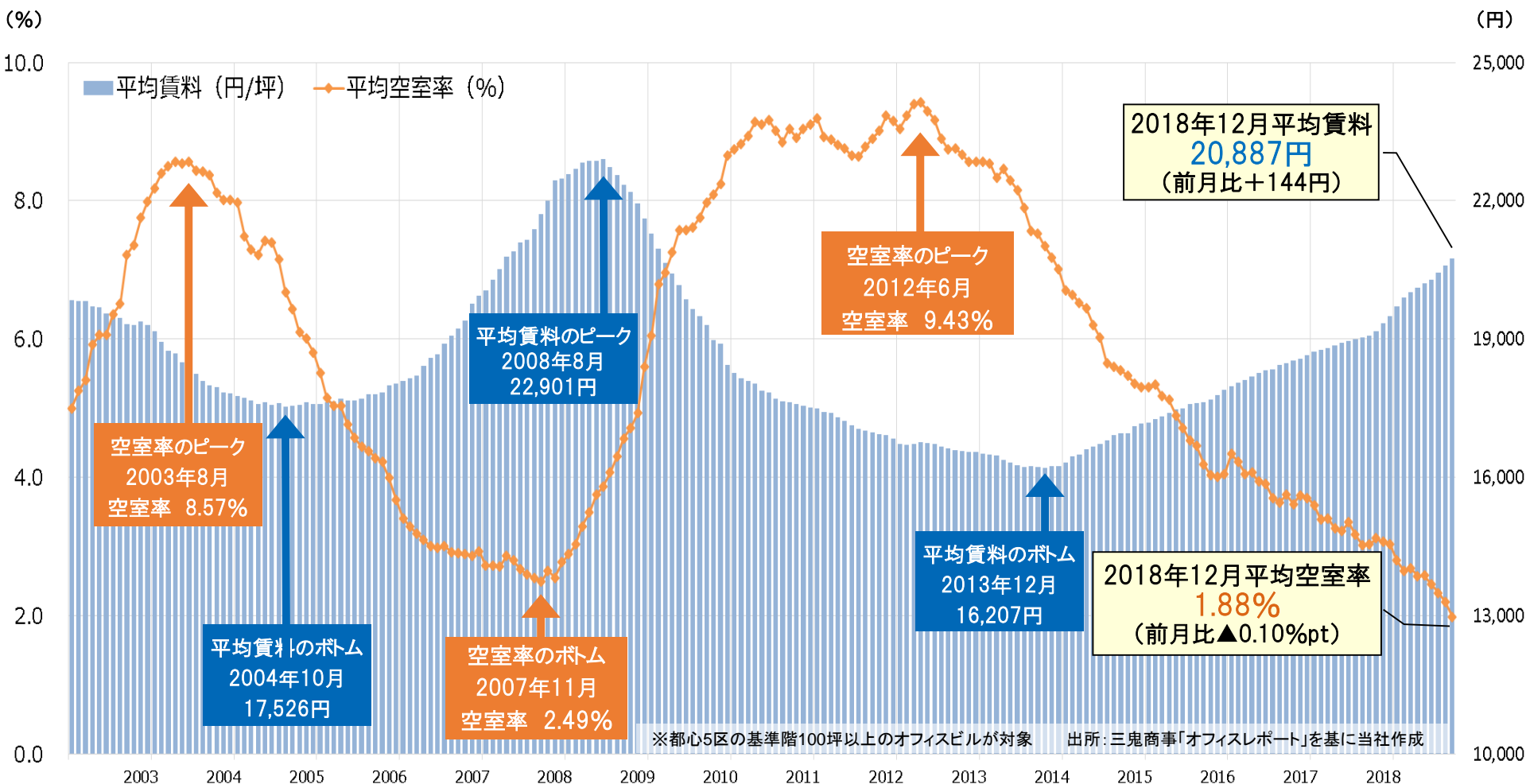
3. 都心オフィスビル市場は、好調な企業業績による底堅い需要から、引き続き活況を呈している。

◆堅調な経済成長や**共用オフィスの広がり**等で**オフィス需要は底堅く、賃料の上昇は継続**すると思われる。

◆**空室率はバブル期の1991年以来27年ぶりに2%を下回り**、引き続きオフィス空室の枯渇状態が続く。

◆**金融機関の不動産融資姿勢が一部慎重**になり、また**売買取引が減少**している。先行きに留意が必要。

都心5区 オフィス賃料・空室率の推移



※出所: 三鬼商事「オフィスレポート」を基に当社作成。都心5区の基準階100坪以上のオフィスビルが対象。

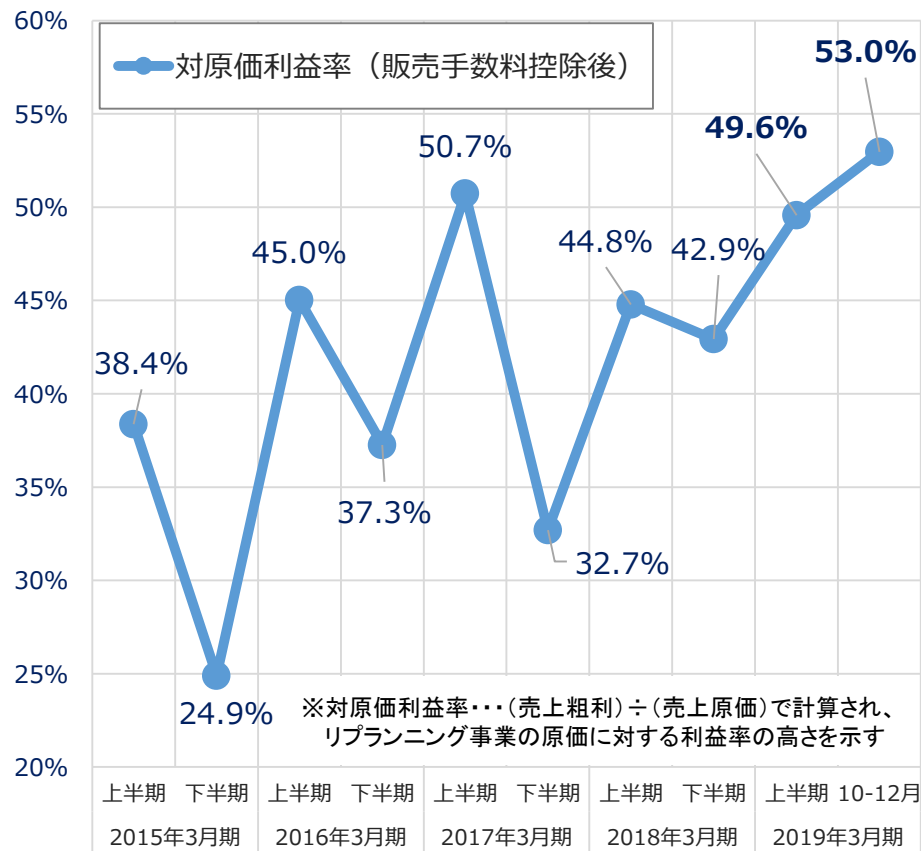
3) 第3四半期取り組み・今後の成長戦略

～利を求むるに非ず、信任を求むるにあり～
ビジネスとはお役立ち競争、
私達の競争相手はお役立ち度

リプランニング事業が業績を牽引

高水準の利益率が更に伸長

1. お客様視点の企画力で、お客様の理想や真のニーズを具現化し、高品質とデザイン性で差別化する、
「ものづくり力」
2. 既存テナント様と調和し、大義を語り、事業観に共感いただくことで不動産価値向上を実現する、
「PMマネージャーの人間力」
3. 都心に特化し、地域に密着することで身近な専門サービスを提供。ビルの収益性を安定的かつ早期に高める、
「テナント斡旋力」



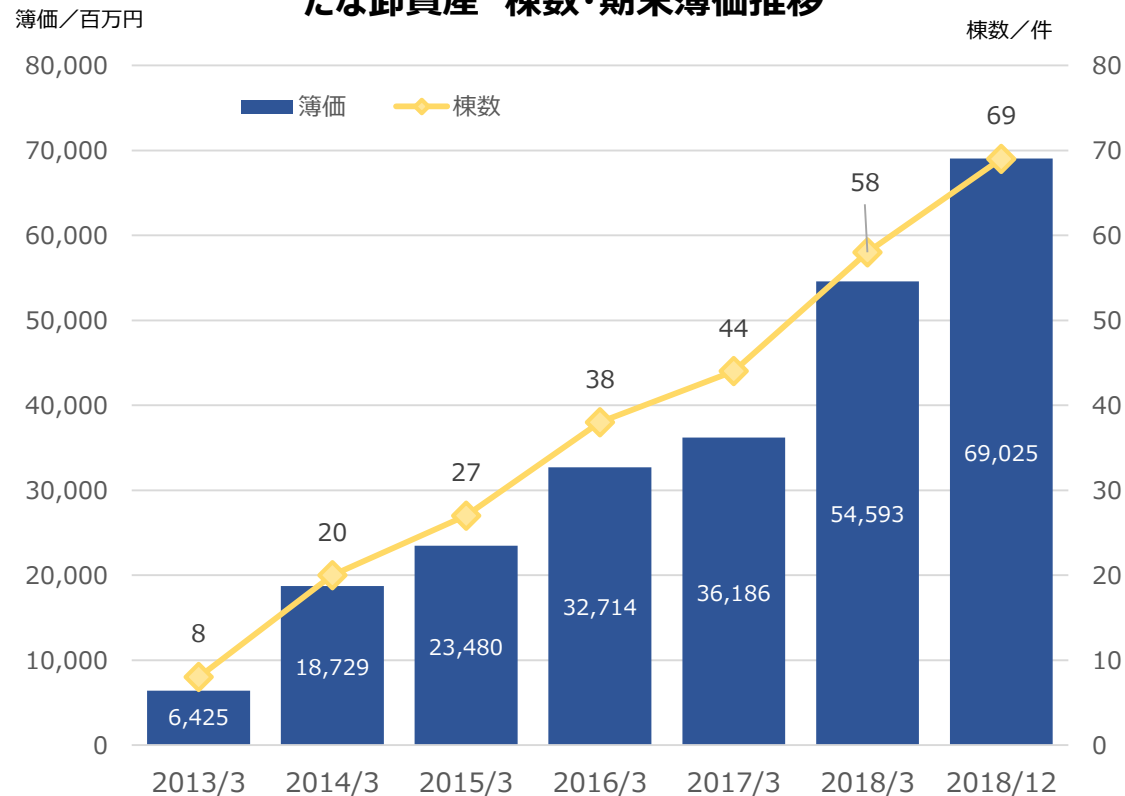
4. 価値観を共有する各専門部署が力をもち寄り、チームワークで生み出す、
「スピード再生」

来期計画分の仕入は概ね完了、基盤強化へ

新宿一棟収益ビル



たな卸資産 棟数・期末簿価推移



今下半期は「**意志の踊り場**」として、

人財育成に危機感を持ち、腰を据えて取り組むとともに、事業基盤、財務基盤、管理面等、未来に向けた経営基盤の強化に取り組む。

成長戦略『4本の矢』

1) 現業の拡大

オフィスビル事業の
深化・拡大

2) ホテル事業

観光・ビジネスに向けた
宿泊特化型ホテル

3) 海外展開

ベトナム・インドネシア

4) M & A

株式譲受・資本参加
業務提携

1) 現業の拡大

～オフィスビル事業の深化・拡大～

オフィスビル事業 2023年3月期 売上高目標 800億円
(2018年3月期比で約2倍)

<リプランニング事業>

東京都心部の中小型オフィスビルに特化し、
ビル再生事業の深化と拡大を目指す

<不動産サービス事業(賃貸仲介・プロパティマネジメント等)>

同業他社にはない身近な専門サービスで、ビルオーナー様に貢献。
小さなお困りごと解決の繰り返しで絆を深め、何でも相談でき、
信頼される「不動産のパートナー」を目指している。
強みは「都心のビルオーナー様を顧客基盤」としていること

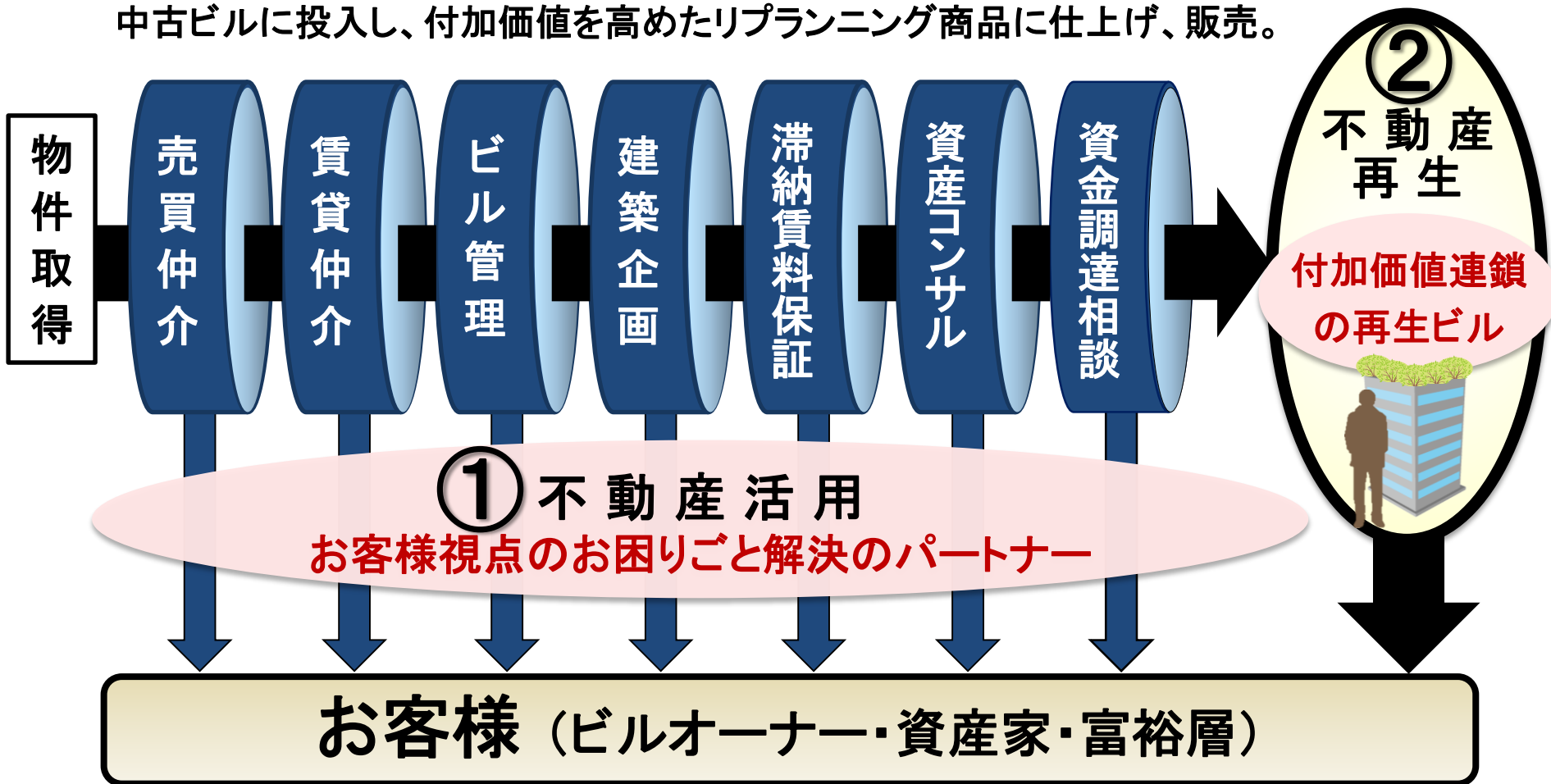
<貸会議室・コワーキングスペース事業>

オフィスビルの付加価値向上の経験値を活かし、空きスペースや
空き時間を活用する**貸会議室等のシェアリングビジネスを急拡大**

差別化された付加価値を生み出す

オフィスビル事業のビジネス構造

- ① **縦の不動産活用事業**で、お客様の声からお困りごとを現場で研究・解決する。
- ② **横の不動産再生事業**で、そのノウハウや掴んだニーズを連鎖複合させ、自社で取得した中古ビルに投入し、付加価値を高めたリプランニング商品に仕上げ、販売。



品質とデザイン性で差別化する「ものづくり力」



天井の高いダイナミックな執務空間、御影石張りの品格溢れるビル ソフト・IT系ベンチャー企業等が事業を伸ばす拠点となるビルづくり



外観



1F After

天井高4mの開放的な空間に



8F After

働き方を提案する内装を設けている



8F After



1F Before

1階駐車場を
事務所へ
コンバージョン

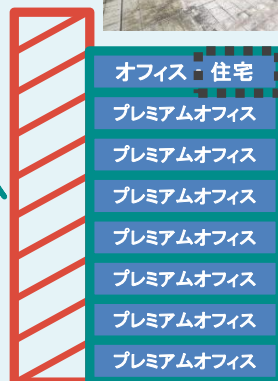


8階のテラスを
住宅・事務所へ増築

豊かな採光。居心地の良いデザインオフィス



品格を感じさせる受付スペース



【不動産再生(リプランニング)】



【新築時】

時代を先読みするセットアップオフィス

時流に沿った上質で、機能的かつ快適性を兼ね備えた『**セットアップオフィス**』



Before



Before



After



After

- セットアップオフィスが生む6つの価値
- ①デザイン性、機能的性、快適性、高級感
 - ②入居コストを抑えられる手軽さ
 - ③内装手配等の煩雑さがない
 - ④すぐに入居・始業できる
 - ⑤従業員のモチベーション・生産性向上
 - ⑥人財採用に高い効果を発揮

デザイン性・機能的性を追求し、受付やガラスパーテーションの会議室を設置

天井高5mを超える、開放感と高級感のあるオフィス空間を創出

落ち着きがあり、使い勝手が良く、デザイン性の高い空間を創出

地域密着、都心特化した拠点網を拡充

1. 東京都心の中小型オフィスビルに特化

東京都心を中心に**11拠点**を展開。地域に密着し、土地勘を活かしたテナント斡旋に強み。

2. 何でも相談でき、信頼される

「不動産のパートナー」へ

オーナー様視点のお困りごと解決の窓口として機能。

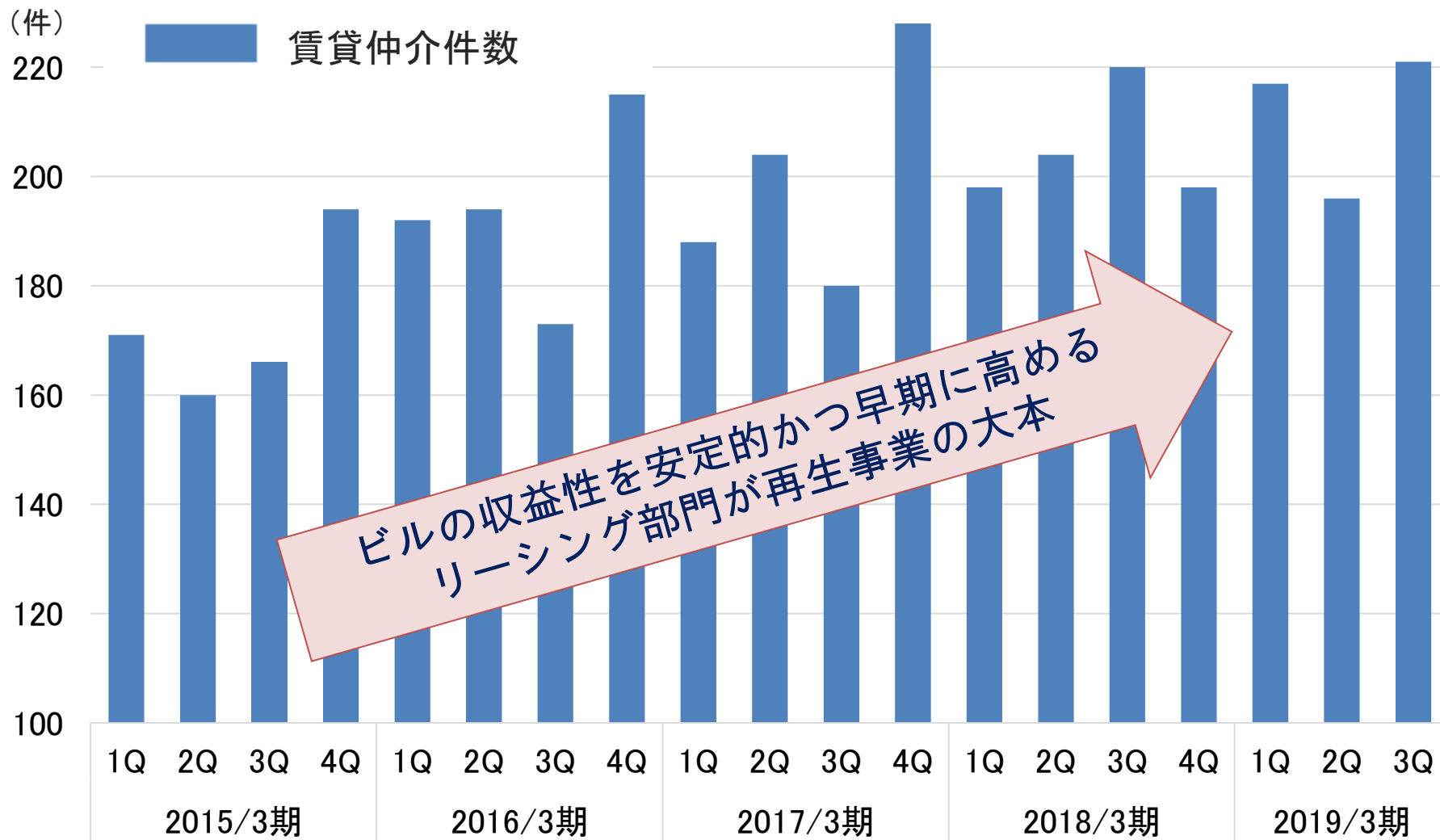
3. テナントニーズを掴み、再生事業の満室化に大きく貢献

4. 不動産再生事業の仕入窓口

相続や建物老朽化の相談などから、ビルを直接譲り受けるケースあり。

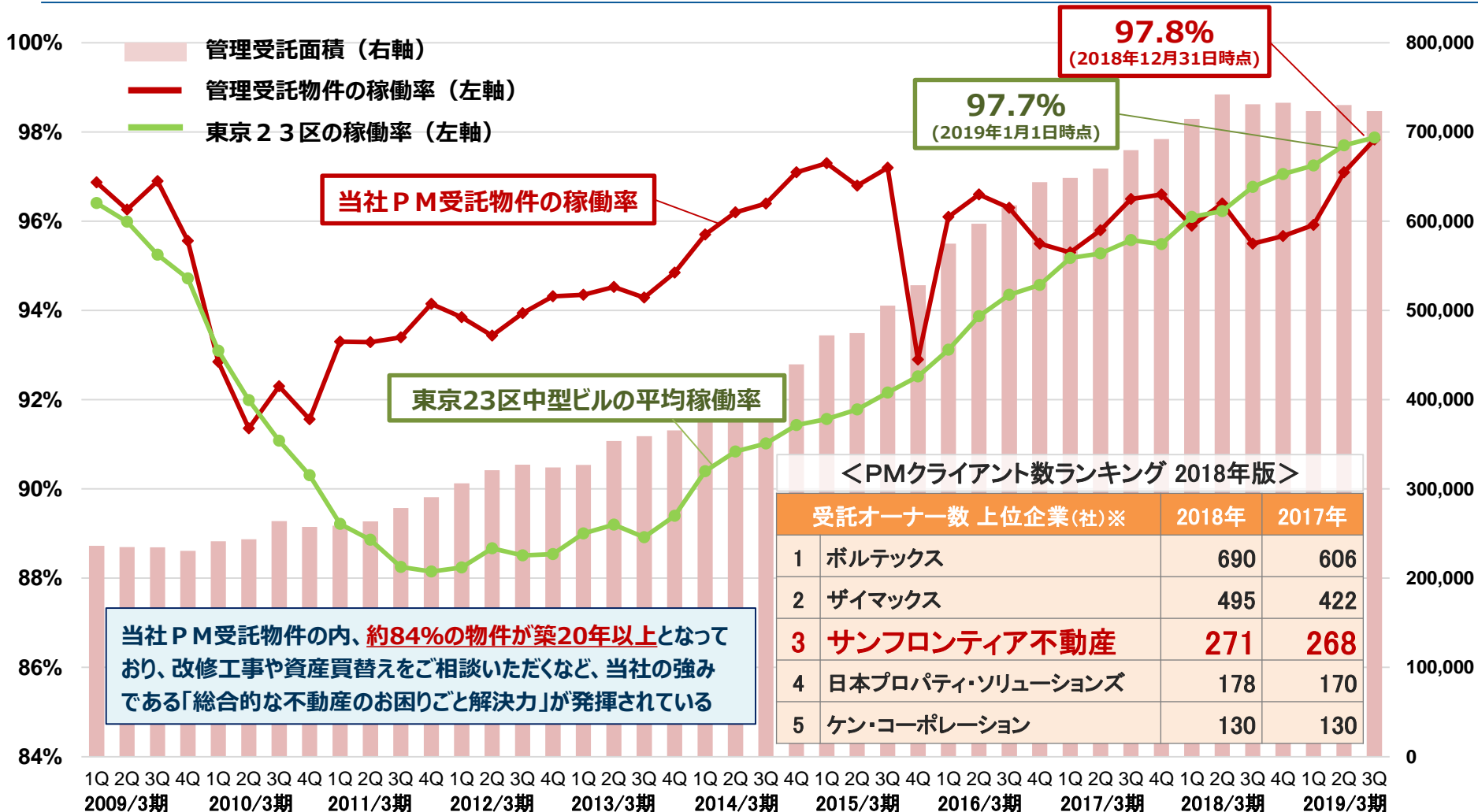


賃貸仲介件数の推移



※リプランニング物件等の自社賃貸仲介件数を含む

管理受託面積と稼働率

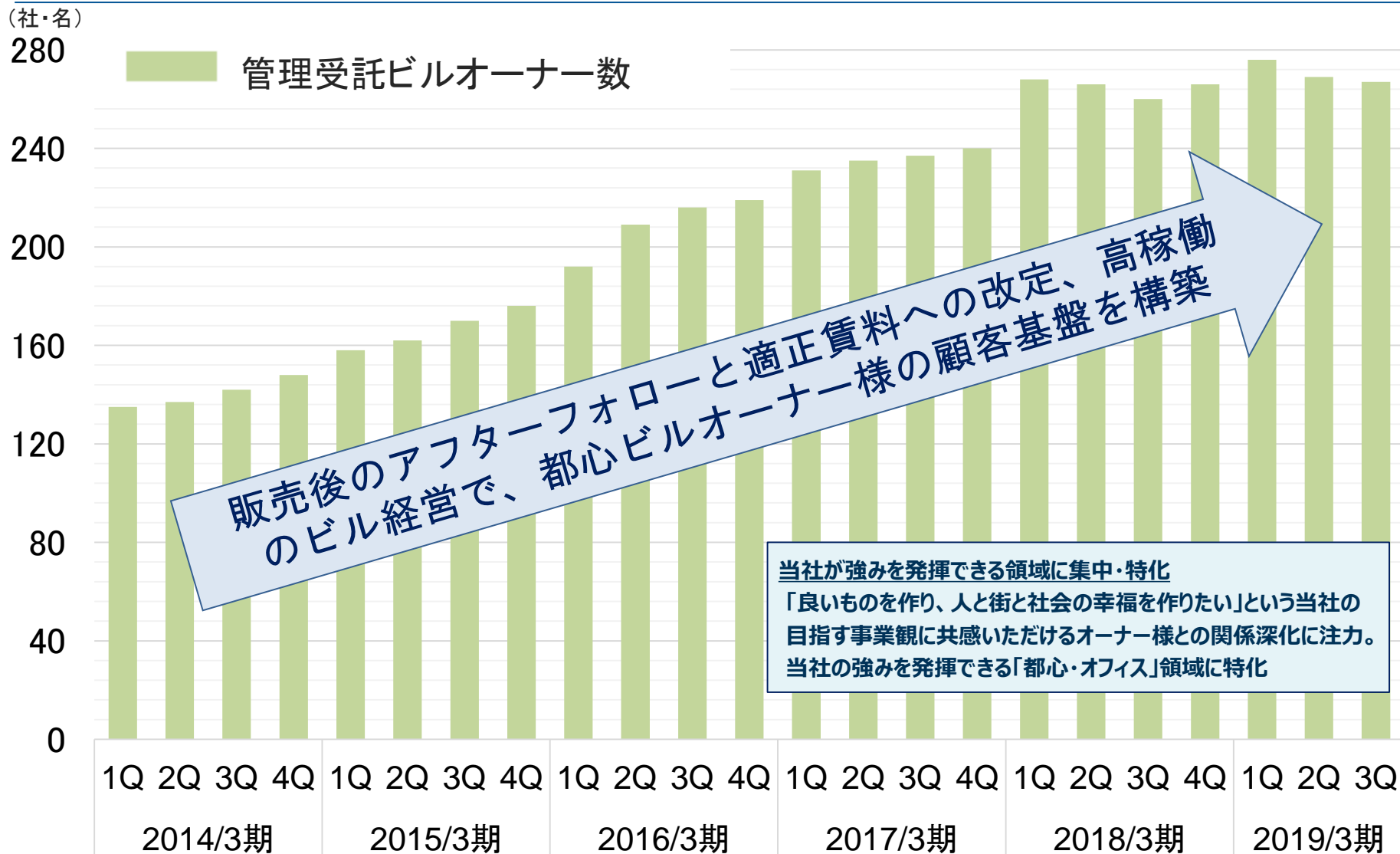


※出所：東京23区中型ビルの平均稼働率は三幸エステートの「オフィスマーケット調査月報」を基に当社作成

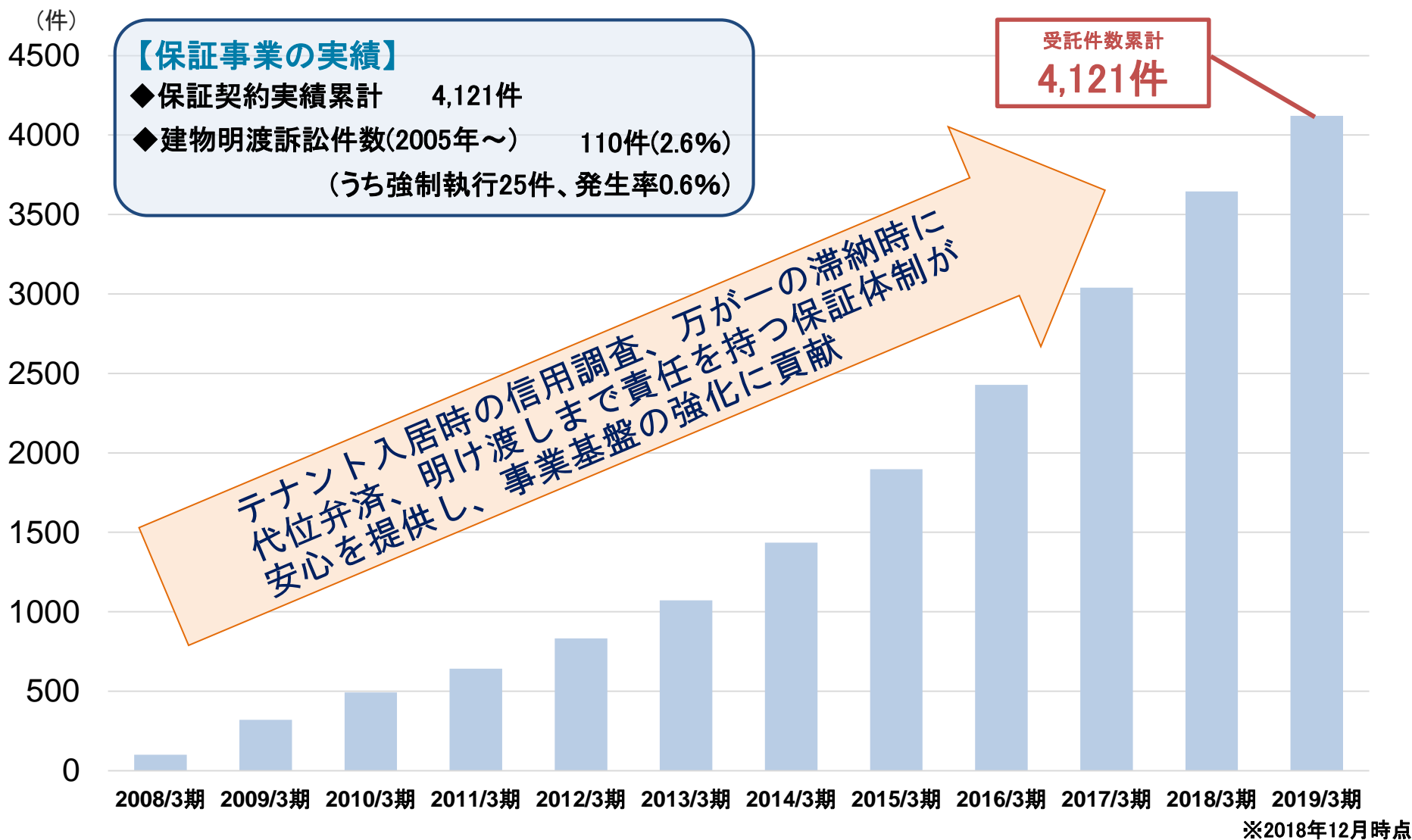
※稼働率：(総稼働面積)/(総貸出可能面積)。稼働率及び受託面積には当社RP物件を含む

※出所：PMクライアント数ランキングは「月刊プロパティマネジメント」2018年11月号を基に当社作成

管理受託ビルオーナー数の増加



滞納保証件数(累計)



品質を強化、得意分野に尖り伸ばす

■SFビルメンテナンス

当社グループ社員が
ガラスクリーニング選手権にて優勝



優勝した、
SFビルメン
菅原社員



競技の様子

「日本一のガラス清掃技術者」
を擁するビルメンテナンス会社に

■建設ソリューション

創業32年の実績と品質の高い施工技術をもつ内装仕上工事会社をM&A

2019年1月11日に「株式会社光和工業」の発行済株式を100%取得し子会社化、当社グループ会社の一員として、新たな成長ステージへ

創業32年の長きに亘る工事实績と大手ゼネコンの一次下請けで築いてきた品質の高い施工技術力と当社のお客様視点のものづくり力を融合し、付加価値の高い事業への展開を描く

【会社概要】

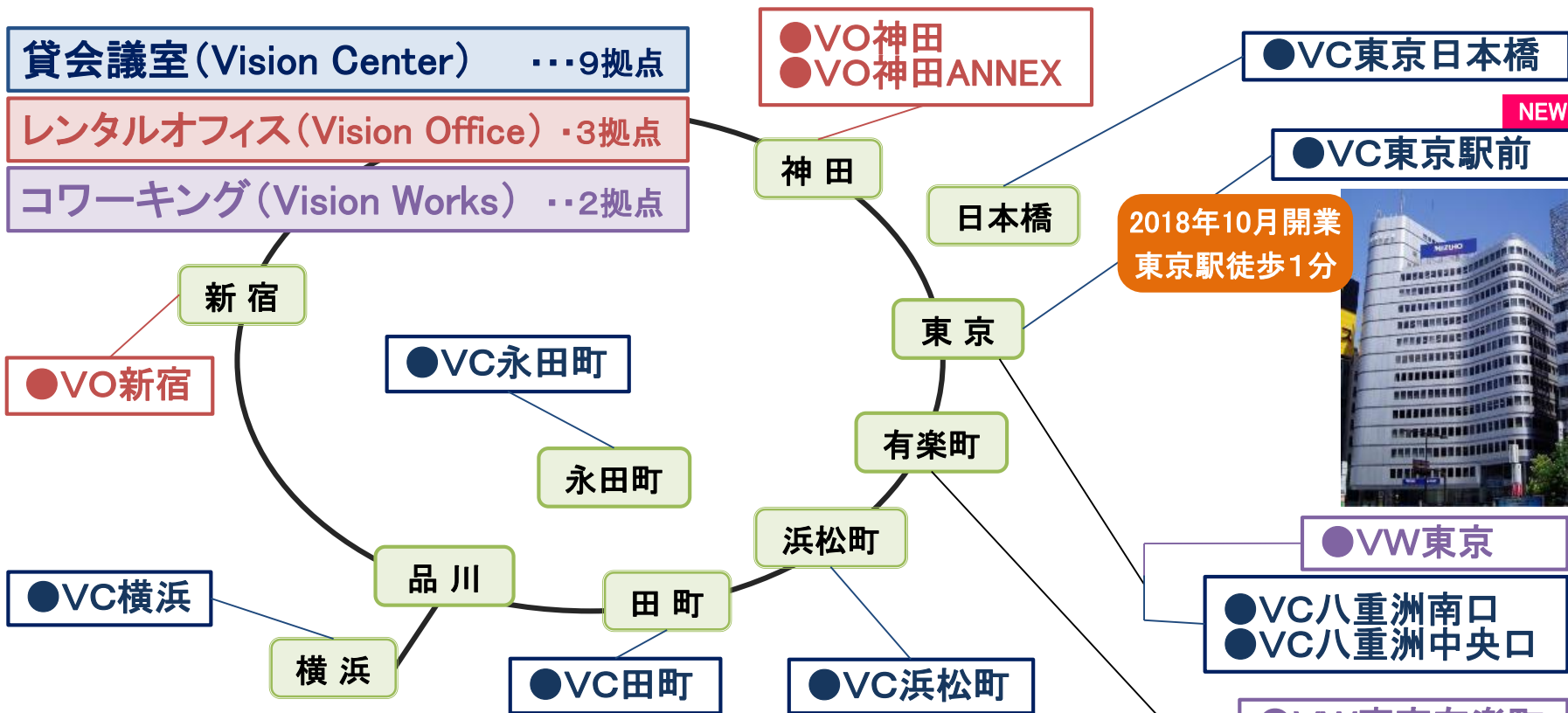
- 名称：株式会社光和工業
- 所在地：東京都墨田区両国一丁目17番6号
- 主な事業内容：マンションや公共施設、オフィスビル等の内装仕上工事全般、床材の販売
- 資本金：20百万円（サンフロンティア不動産株式会社100%出資）
- 設立：1987年3月

当社の建設部門との連携により
内装工事関連事業の拡充を図る

空間活用のシェアリングビジネスを拡大



貸会議室・レンタルオフィス事業は合計**14**拠点、座席数 **5,440**席に



- ◆ 10月末に開業した『VC東京駅前』は2ヶ月目で黒字化
- ◆ 既存拠点における増床も着実に進行
- ◆ 2023年3月末時点では拠点数を**45拠点へ拡大する計画**

※貸会議室の席数はスクール形式(3人掛け)で算出。スクール形式が出来ない部屋については口の字型の座席数を加算。

2) ホテル事業

～成長市場である「ホテル」への果敢な展開～



運営・開発中ホテル一覧

<国内ホテル>

稼働中 1,401室

建築中 756室

計画中 859室

合計 3,016室

※2019年2月1日時点

※「稼働中」には右表の赤字内、「運営中」「賃貸中」のホテルを含んでいます。

佐渡(千種)

佐渡(吾妻)

富山

高山

京都御池
京都四條

大阪本町
大阪なんば

石垣島

下関

博多

常滑

川崎

舞浜

成田

小岩

銀座東

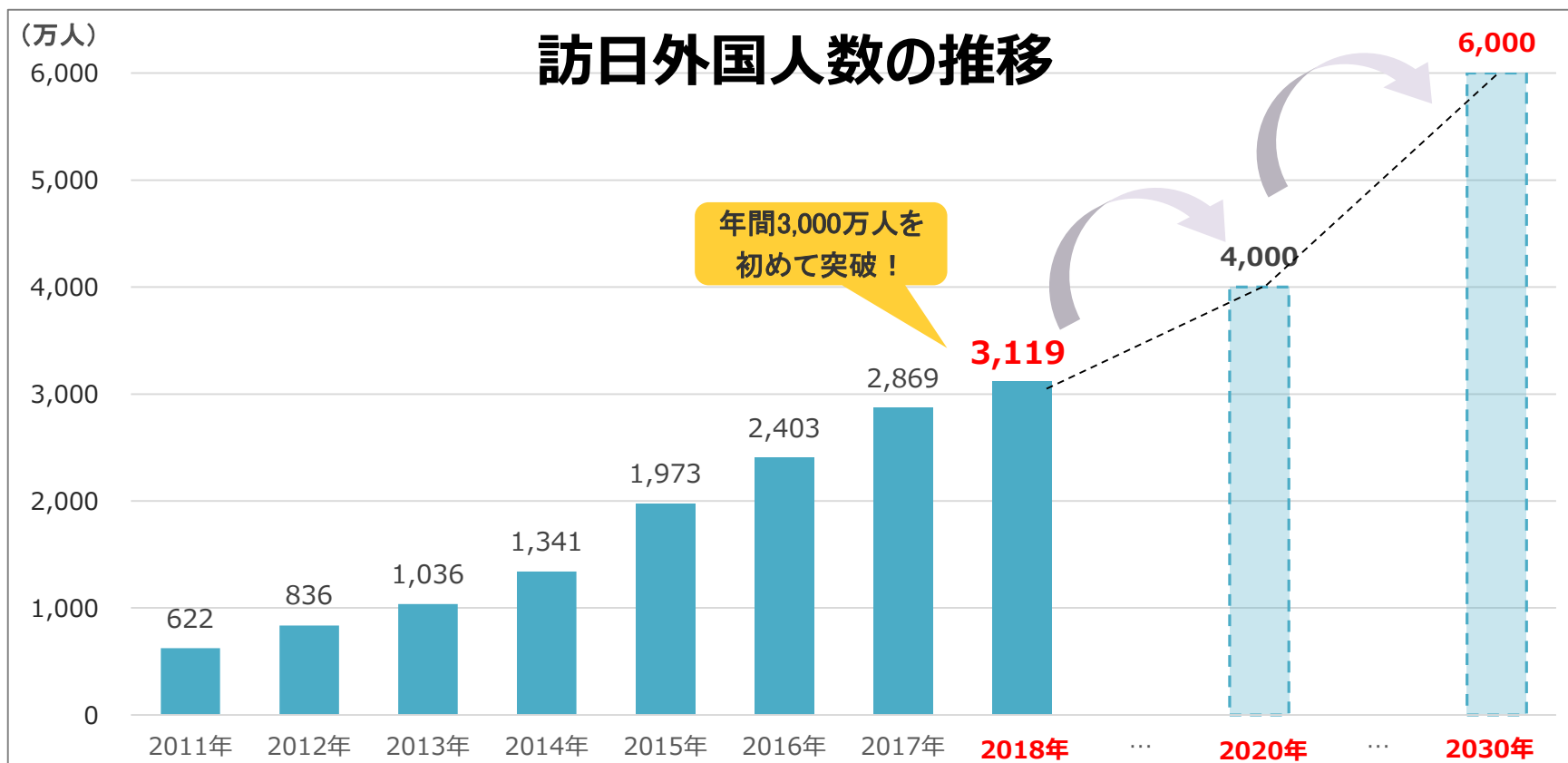
※ スケジュール・規模等は現在の計画であり、今後変更となる可能性があります。

現状	開業(予定)	ホテル名・所在地	客室数
運営中	2016年4月	SSH名古屋常滑	194
運営中	—	スカイハートホテル川崎	200
運営中	—	スカイハートホテル小岩	105
運営中	—	スカイハートホテル成田	100
運営中	—	スカイハートホテル博多	159
運営中	2017年4月	日和ホテル舞浜	80
賃貸中	—	富山	210
運営中	—	佐渡 吾妻	57
運営中	2018年5月	たびのホテル高山	80
運営中	—	スカイハートホテル下関	105
運営中	2018年7月	たびのホテル佐渡	111
建設中	2019年6月	大阪なんば	224
建築中	2019年10月	大阪本町	193
建築中	2019年12月	銀座東	135
建築中	2020年9月	沖縄恩納村	204
計画中	2019年12月	倉敷水島	155
計画中	2020年2月	茨城鹿島	190
計画中	2020年12月	京都御池	200
計画中	2022年4月	四條河原町	134
計画中	2022年12月	石垣島	180

本年開業予定

訪日外国人の急増

2013年に1,000万人を突破以降、ビザ発給要件緩和・所得水準向上等の影響を受けて急増。2018年は通年でついに3,000万人を突破。政府は2020年に4,000万人、2030年に6,000万人を目標に掲げる。



出典：日本政府観光局（JNTO）発表資料を基に当社作成

2019年は規模の大きいホテルが続々開業



コートヤード・バイ・マリオット大阪本町

大阪中心部の海外ブランドホテル

【物件概要】

- 所在：大阪府大阪市中央区
- 構造：鉄骨造一部鉄筋コンクリート造
地下1階付 17階建
- 客室数：193室
- 敷地面積：754.75㎡(228.31坪)
- 延床面積：8,194.32㎡(2,478.78坪)

有名シェフのレストランにフィットネスジム、大浴場と露天風呂を完備



日和ホテルなんば

南海線「なんば駅」徒歩1分のツインタワーホテル

【物件概要】

- 所在：大阪府大阪市浪速区
- 構造：(北敷地)鉄骨造 地下1階付10階建
(南敷地)鉄骨造 地下1階付 9階建
- 客室数：224室
- 敷地面積：1,281.40㎡(387.62坪)
- 延床面積：6,784.41㎡(2,052.28坪)

ツインタワーにタイプの異なるレストランとおしゃれなカフェバーを完備



日和ホテル銀座東

銀座エリアで当社初となるホテル開発案件

【物件概要】

- 所在：東京都中央区
- 構造：鉄筋コンクリート造 11階建
- 客室数：135室
- 敷地面積：551.38㎡(166.79坪)
- 延床面積：3,725.00㎡(1,126.81坪)

最上階に銀座やスカイツリーを眺める露天風呂と大浴場を完備

(注)スケジュール・規模等は現在の計画であり、今後変更となる可能性があります。

『日和ホテル舞浜』が全国第1位を獲得

2017年開業の自社ブランドホテル第1号『日和(ひより)ホテル舞浜』が、女性向けWebサイト「OZmall」が発表した「OZmallアワード2019」カジュアルホテル部門、口コミ年間ランキングにおいて全国第1位を獲得しました。当ホテルは「心温かい、優しさに包まれた身近なホテル」を目指し、琉球畳を敷いた客室、充実のアメニティなど、女性視点のきめ細やかなサービスを追求してまいりました。



自社ホテルブランド 第1号『日和ホテル舞浜』



素足で動き回れる琉球畳



当日誕生日のお客様へのサプライズ演出



心地よさを追求したこだわりのツイン



選べる+αのアメニティサービス
(HIYORI Happyプレゼント)



ベビーベッド・ベビー用品レンタル

おんなそん
那覇空港から一番近い沖縄恩納村リゾートホテル

「日和オーシャンリゾート沖縄」PJ進行中



ホテル外観パース



2020年9月開業予定
全204室のコンドホテル

美しい海を一望できる高台の立地



全室、オーシャンビュー＆
テラス付きスイートルーム

客室モデルルーム



ロビーから海へ続く水盤



HIYORI
OCEAN RESORT
OKINAWA

ホテル事業の目標・テーマ

ホテル事業 2023年3月期 稼働客室数目標 5,000室
(2018年3月期比で約4.5倍)

<テーマ>「心温かいホテル」

- ① 従業員の力によって成長するホテル
- ② お客様の声によって成長するホテル
- ③ 地域と共に成長するホテル



自力・他力・社会力
三つの力で日々成長
してまいります

お客様視点で

心温かい従業員が提供する上質で心地よい、パーソナル感のあるホテル

<運営室数を拡大する二つの戦略>

- ① 中核の自社ホテルブランド「HIYORI HOTELS & RESORTS」は、更地から開発し、アップグレード・ハイグレードを目指す
- ② 再生やM&A、ブランド変更を積極活用し、多様なニーズやマーケットに対応する柔軟な方法で客室数を拡大

3) 海外展開

～ベトナム ダナンでPJ進行中～



第2号 高層分譲マンション 『HIYORI Garden Tower』

完成予想パース(外観)
28階建の高層マンション

2019年9月
竣工予定



ダナンの夜景



モデルルーム(リビング)

工事開始から623日間
無事故で1月に上棟



ダナンへは成田空港から週5便、
関西国際空港から週11便の
直行便が就航しています。

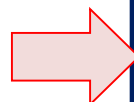
中国から直行便は60便/週、
韓国から直行便は134便/週と、
**企業の進出ニーズが高いエリアで
あると同時に、アジアから注目される
リゾート地**です。

2023年3月期 中期経営計画の骨子

基本方針：都心特化ビジネスと成長市場への展開

<3つの方針>

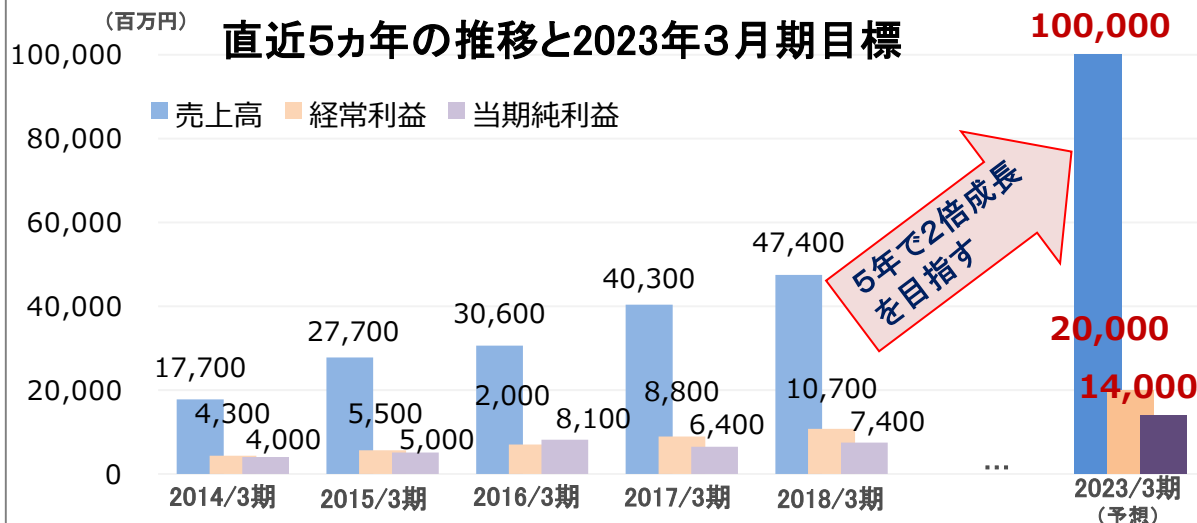
- ① 影響力の強い「都心オフィスビル事業」の深化・伸長
- ② 成長市場の「ホテルとアジア」にフォーカス
- ③ 成長加速のための「M&A」の積極活用



結果、中長期的に安定した成長を遂げるため、
「フローとストックの両足で立つ」
収益構造を確立する

<定量目標>2023年3月期

売上高	1,000億円
経常利益	200億円
当期純利益	140億円
自己資本比率	50%以上
経常利益率	20%以上



ビジョン・方針

ビジョン

「不動産活用のプロフェッショナル」として
“世界一お客様に愛され、選んでいただける
“不動産会社”を目指します

お客様

ビルオーナー様、資産家、富裕層

本業

不動産再生と活用

方針

利を求むるに非ず、信任を求むるにあり
物件でなく人にフォーカス
お客様視点を貫き、お困りごとを解決する

戦略

都心

オフィス

強み

テナント
斡旋力

不動産
再生力

オペレー
ション力

会社概要

会社名	サンフロンティア不動産株式会社
本店所在地	東京都千代田区有楽町一丁目2番2号
設立年月日	1999年 4月8日
上場年月日	2004年11月19日(ジャスダック証券取引所) 2007年 2月26日(東京証券取引所 第一部)
資本金※	11,965百万円
代表者	代表取締役社長 堀口 智顕
連結従業員数※	正社員 498名(パート・アルバイト含む 812名)
平均年齢※	33.2歳 (※2018年12月末日現在)
事業内容	不動産再生 不動産サービス (不動産の管理・仲介・建築企画・滞納保証 賃貸ビルのオペレーション・資産コンサル) ホテル開発・運営
決算月	3月
上場市場	東証一部(証券コード 8934)



今後ともご支援賜りますよう 宜しくお願いいたします。

- ◆本資料は情報提供を目的としたものであり、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断と責任で投資なさるようお願いいたします。当社の株式のご購入にあたっては各証券会社にお問い合わせください。
- ◆本資料で提供されている情報は、金融商品取引法、宅地建物取引業法等の関係法令、及び東京証券取引所上場規則等に必ずしも則ったものではありません。
- ◆本資料の内容には、将来の業績に関する記述が含まれていますが、このような記述は、将来の業績を保証するものではありません。
- ◆本資料の内容に関しては、万全を期しておりますが、その内容の正確性及び確実性を保証するものではありません。
また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

〈本資料に関するお問い合わせ〉

サンフロンティア不動産株式会社 経営企画部

Phone : 03-5521-1551

URL : <http://www.sunfrt.co.jp/>

Mail : ir-contact@sunfrt.co.jp



SUN FRONTIER